

金融機関への借入金返済元金棚上要請についてバンクミーティング開催

卸売・小売業B社 (福島県)

卸売・小売業

1. 相談のきっかけ

・子会社を立ち上げ、新規業務の取り扱いを始めたが、軌道に乗る前に東日本大震災被災。
・売上減少分をカバーすべく取扱業務を更に広げたが、利益寄与できるまでには至らず、仕入先への支払いや給与の支払いがままならない状態となり、相談持込みとなった。

2. 課題整理・分析

・子会社設立や、多角化により経営の実態が見えなくなっていた。
・多角化の繁忙にまぎれ、メインをはじめとした金融機関とのコミュニケーションがおろそかになっていた。
・相当数の金融債権者の合意形成が困難を極めていた。

3. 解決策の提案

・窮境要因の分析と、それを踏まえた経営改善計画の作成。
・経営改善計画の内容について金融機関に理解と協力を要請。



4. 成果

・社長とよろず支援拠点で経営改善策を策定し、それに基づいた経営改善計画書(再生計画)の作成を行った。

<経営改善計画の骨子>

- ①多角化のため立上げた子会社の売却・M&A
- ②本体の売上向上策策定
- ③不採算部門の独立切り離し

<金融機関宛の要請内容>

平成26年9月分から1年間の借入金返済元金棚上

・よろず支援拠点は、上記内容の改善計画に基づき下記のサポートを行った。

- ①メインの金融機関へ社長とよろず支援拠点で帯同訪問し内容説明
- ②会社事務所にてバンクミーティングの設営
- ③バンクミーティングにおける経営改善計画内容説明

・バンクミーティングでは各金融機関から理解が得られ、再建に向けた返済条件変更の取り組みが動き出した。